

# ● 社外取締役メッセージ



## 社外取締役 西野 和美

### 略歴

1992年4月 富士写真フイルム株式会社入社

2002年4月 東京理科大学経営学部経営学科 専任講師

2006年4月 同大学大学院総合科学技術経営研究科 総合科学技術経営専攻(現、イノベーション研究科技術経営専攻) 准教授

2017年4月 一橋大学大学院商学研究科(現、経営管理研究科) 准教授(現任)

2019年6月 当社社外取締役(現任)

持続可能な社会、環境を実現するために、どのような貢献を行うか。そしてそれをいかに自社の経済活動と合致させ、自社の成長に結びつけていくか。近年、サステナビリティに対する取り組みはどの企業にとっても必須となっていますが、当社ではオリエントコーポレーション「らしい」取り組みが着実に進められているように見受けられます。

当社の中核となるビジネスは「安心・安全で利便性の高い金融商品・サービスの提供」です。これは、当社のステークホルダー(直接金融商品・サービスを利用して下さるお客さまだけでなく、加盟店、金融機関、さらには地域社会における関係企業・機関の皆さま、そして当社従業員やその家族など)が安心して経済活動を行い、自らの成長をめざすことを可能にするための、そして持続・発展可能な社会とするための、まさに基盤となるものだといえます。その中でも、経済活動の基盤を下支えする足場となる部分、例えば、安全性の高いサービスの提供のための、クレジットカード犯罪による不正使用被害の抑制、顧客データ漏洩やサイバー攻撃の防止、業務プロセスの見直しなどの業務に対して、適切に投資を行い、人材を育成し続けていることは大変重要であると考えます。

そうした足場の上に、人々のそして社会の成長を支援するような金融商品・サービスを提供しているのですが、その数と範囲を拡大させていることは評価できます。学ぶ夢を叶えるための学費サポートプランの提携先拡大、新たな生活を始めるための家賃決済保証商品、地域経済活性化に資するための中小企業向け金融商品、さらには革新的な技術をも

とに事業拡大したいベンチャー企業を支援するための「Orico Digital Fund」など、当社の実績と経験を生かした金融商品・サービスが増えてきています。また、アジア地域へのオートローン事業の展開で、成長著しいアジア地域の方々が自動車購入によってもう一段豊かな生活を享受できるよう、支援していることも有用なことと考えます。

このような事業展開に対して、期待を込めて言うならば、それら商品・サービスの種類を一層増やすとともに、お客さま、そして加盟店など関係する皆さまがより使いやすいように、またつい使いたくなるように、さらに改善を続ける努力と工夫をお願いしたいと思います。

一方社内においても、全体の約6割を占める女性社員がより活躍できるような職場とキャリアづくりに取り組んでいます。しかし、これについては途上であるように思います。年に2回ある全国支店長会議に出席させていただいた時に感じたことですが、女性は少なく、まだまだ男性中心というところもあります。優秀な男性社員を蔑ろにするわけではありませんし、出世することだけが働く人の幸せとは毛頭思いませんが、支店長や部室長を自らのキャリアの一部に描く女性社員がもっと出てきてくれることを期待したいですし、そのための一層の環境整備もお願いしたいと思います。

私は、当社のブランドスローガンである「かなえる、のそばに。」という言葉が好きです。一人ひとりのかなえる、そして地域や社会のかなえる、を実現させるための、すぐそばにある存在。自らも社会の一部である当社がともに成長できるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思えます。